

- ◆火災 106件【前年比 -11件】
- ◆救急 21,969件【前年比 +454件】

市民の皆さまの安全・安心のために



消防局長 高橋 文夫

明けましておめでとうございませう。

市民の皆様には、平成二十八年度の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、消防行政に對しまして皆様の深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、全国的には活発な前線活動や台風の影響から記録的な大雨となり、各地に多くの被害をもたらしました。

中でも九月に茨城県常総市で発生した大規模な豪雨災害では、甚大な被害が発生したため、本市消防局からも緊急消防援助隊として職員を派遣し、災害活動に従事したところであり、多くの尊い命が奪われ、災害の恐ろしさを改めて知らされる年となりました。

また、全国各地では、五月の川崎市簡易宿泊所火災、六月には東海道新幹線の車両火災、さらに十月には広島市飲食店の火災など、社会的影響の大きな災害も発生しております。

さらには、首都直下地震、東海地震、東南海地震などの大規模地震の切迫性が指摘され、今後の発生が一層危惧されることから、消防体制の更なる強化に向けた取組みに努めているところです。

このように、消防を取り巻く環境は多種多様に变化しており、あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守るという我々消防の責務は、ますます大きなものとなっております。

これらを踏まえ、昨年十一月に本県で実施された緊急消防援助隊全国合同訓練では、本市を被災地として想定し、各種の訓練を実施するとともに関係機関との調整を図ったところであります。

本年も市民の皆様のご信頼と期待にこたえるため、消防職員が一致団結し、消防組織の基盤強化に努めるとともに、消防力の充実強化や消防救急体制の充実強化を図り、安全安心なまちづくりに積極的に取り組んで参りますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



消防団長 高橋 廣孝

新年おめでとうございませう。

平成二十八年度の輝かしい新春を迎え、市民の皆様には謹んでお喜び申し上げます。

平素は、本市消防団の運営や活動にご理解と協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、我々消防団は、その地域に居住又は勤務している人達が、普段は自分達の仕事をそれぞれ持ち、火災や地震などの災害時や、夜警などのパトロールの際に集まり出勤しています。

また災害に對応できるようにと年間を通し、土日などの休日を利用して、より地域に根付いた活動を続けて参りました。

昨年を振り返りますと、九月に起きた関東での豪雨により、茨城県では鬼怒川が決壊し広範囲にわたり甚大な被害を及ぼしました。本市においても消防団を集結させ、崖地や河川を有する場所へ広報等の対応に当たったところであります。

このように「自分達のまちは自分たちで守る。」を合言葉に、地域の特性について豊富な知識を有する我々消防団は、より地域に密着した活動を今後も続けて参ります。

本年も引き続き地元住民の皆様のご期待と信頼にこたえるよう、更なる防火啓発活動を推進し、防犯活動にも力を入れ、安全で安心な地域づくりに努めて参ります。

どうか皆様方におかれましては、我々消防団の使命をご理解いただき、市民と消防団として行政が一体となり、災害に強いまちを築きあげるために、より一層のご支援と協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご益々のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

イベントカレンダー

1月
市川市消防
出初式(終了)

文化財防火デー
消防総合訓練(26日)

中山法華経寺

3月
春季全国火災予防運動
(1日~7日)

「春のふれあい消防広場」
「みんなの消防広場」

6月
市川市消防団
消防操法大会

7月
こどもの消防広場
サマーフェスティバル

9月
救急の日(9日)
救急広場

10月
事業所自衛
消防操法大会

11月
秋季全国火災予防運動
●火災予防絵画展
(9日~15日)

12月
歳末特別火災予防運動
(15日~31日)
歳末特別警戒出動式



救急救命士のワンポイントアドバイス ~インフルエンザにご注意ください~

冬は空気が乾燥し、インフルエンザが流行する季節です。インフルエンザはインフルエンザウイルス(A型、B型、C型)の感染によって生ずる急性炎症で、かぜ症候群と異なる特徴は気道の症状と共に高熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛、関節痛などの全身症状が著明なことです。インフルエンザは流行性があり、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が広がります。日本では、例年12月~3月頃に流行することが多いです。

~インフルエンザの予防法~ インフルエンザを予防する方法としては、以下が挙げられます。

【流行前のワクチン接種】

インフルエンザワクチンの予防接種には、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があり、特に高齢者や基礎疾患のある方など、重症化する可能性が高い方には効果が高いと考えられています。

【咳エチケット】

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発せられる水滴による飛沫感染です。マスクをするなど、普段から咳エチケットを心がけましょう。

【外出後の手洗い等】

インフルエンザに限らず接触感染を感染経路とする感染症対策の基本です。

【適度な湿度の保持】

室内では、加湿器などを使って適切な湿度(50~60%)を保つことも効果的です。

【バランスのとれた栄養摂取】

体の抵抗力を高めましょう。

【人混みや繁華街への外出を控えましょう】

インフルエンザが流行してきたら、特に高齢の方や妊婦、基礎疾患のある方は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。

インフルエンザにかかってしまった場合は、医療機関を受診し、安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠、水分を十分に取ることが大切です。



出展：厚生労働省ホームページ

文化財防火デー 消防総合訓練

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。

これは、昭和24年1月26日に奈良県の法隆寺金堂が炎上し、国宝の十二面壁画が焼損したことを契機に制定されました。

この事件は国民に強い衝撃を与え、火災など、災害による文化財保護の危機を深く憂慮する世論が高まり、昭和25年に文化財保護法が施行され、法隆寺金堂の焼損した日であることと、1月、2月が1年のうちで最も火災が発生しやすい時期であることから、昭和30年に当時の文化財保護委員会(現在の文部科学省文化庁)が1月26日を「文化財防火デー」と定めました。

文化財は、私たちの祖先が残してくれた日本の歴史や文化を今日に伝える貴重な財産です。さまざまな災害から文化財を守り、歴史的遺産を大切に保護し、後世に伝えていくことは私たちの責任です。

これらを踏まえ消防局では、貴重な文化財を火災から守るために、関係者及び消防機関が協力し、消防総合訓練を実施します。

【日時・場所】

平成28年1月26日(火)

午前10時から

中山法華経寺(中山2丁目10)

【問い合わせ】

東消防署 334-0119

救命講習会のご案内

救える命がそこにある

1 受講対象者

市内在住または在学、在勤で中学生以上の方

2 講習内容及び日程

(1月24日~2月16日開催分)
①普通救命講習I
(成人に対するAED(自動体外式除細動器)を使用した心肺蘇生法・異物除去法)

1月24日(日) 2月12日(金)
2月16日(火)

②外傷に対する応急手当講習
1月30日(土)

1月30日(土)

3 時間

9時から12時

※1月24日(日)の普通救命講習Iは9時30分から12時30分

4 定員

各日程とも30名

5 講習場所

市川市消防局5階ホール
※1月24日(日)の普通救命講習Iは行徳公民館レクリエーションホールにて実施

6 申込み方法

1月開催は1月4日(月)より
2月開催は2月8日(月)より
電話にて受付を行います。

※受付時間(平日9時~17時)

7 申し込み先

消防局救急課

TEL 3333-2111
(音声ガイダンス②番 救急課)

地域の防災リーダー「消防団員」募集中

《応募資格》

市内居住又は市内で勤務をしている18歳以上の健康な方



消防団消防操法大会の様子

《問合せ》 消防局警防課

TEL 3333-2111

(音声ガイダンス③番 警防課)



昨年の訓練の様子